

麻酔・蘇生・ペインクリニック科

1. 診療科としての特色

- 手術麻酔を中心とした研修を行います。手術中の管理だけでなく、術前の介入や術後の診察といった、周術期の麻酔科診療を、科の一員として携わってまいります。
- 将来ペインクリニック、緩和医療、集中治療、救急医療といった領域のスペシャリストになるための基礎をトレーニングし、それぞれの専門医への道をサポートします。
- 手技的には気道確保各種、脊髄くも膜下麻酔、静脈ライン確保、動脈ライン確保を始めとして、しっかり勉強してきている研修医には、硬膜外麻酔、末梢神経ブロック、中心静脈ライン確保、分離肺換気、経食道心エコー、Difficult airway management といった手技の経験もしてもらえます。

2. 研修目標

■麻酔科選択期間が2ヶ月以下の場合

- 麻酔管理の基礎の習得。目標麻酔症例数は40例。
- 術前評価（検査や合併症の評価、診察法、薬物相互作用）と麻酔法の決め方。
- 全身麻酔の準備と施行（麻酔器と気道確保の準備、麻酔導入・麻酔維持・覚醒の方法）
- 基礎的な術中モニタリング(心電図、圧モニター、麻酔深度)
- 麻酔で使用される薬剤についての基礎知識と使用法（麻酔薬、血管作動薬、輸液、抗不整脈薬）
- 区域麻酔の準備と施行

■麻酔科選択期間が2ヶ月以上の場合

- 特殊な手術の麻酔管理（心臓、肺、食道、肝臓、大血管、脊椎など）から、一側肺換気、完全静脈麻酔、重症患者の管理（中心静脈カテーテルの挿入と管理、血管作動薬の使用法）について学ぶ。
- 硬膜外麻酔や patient controlled analgesia といった術後鎮痛法について学ぶ。
- 気道確保困難（挿管困難、マスク換気困難）といった症例に対する気道確保法について、ASA（米国麻酔学会）アルゴリズムに準じた対処法がとれるよう訓練を行う（具体的にはラリングマスク、挿管用ラリングマスク、気管支鏡による気管挿管）。
- 小児麻酔、産科麻酔を経験し、小児や妊婦の麻酔管理上の特殊性について理解する。